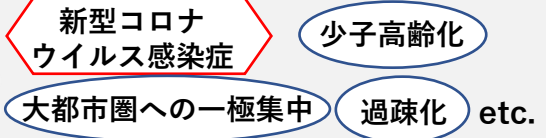


我が国の現状

“待ったなし”の社会的課題



地域の力を結集して地域経済を持続的に活性化させ、人口減少を克服することが必要

地方創生

北陸地域は・・・

日本を代表する特徴的な主要産業が未発達で、大規模企業が少ない

一方で

- ◆ 「フロントランナー」
我が国が抱える社会的課題を真っ先に体験
- ◆ 「ポテンシャルリスト」
地方創生の旗手として課題解決モデルを示せる可能性

➤ 北陸経済連合会に北陸地区4国立大学を含む10大学が会員として参加。経済界と大学の良好な連携関係

➤ 北陸地区4国立大学と各縣市町村と包括連携協定を締結 地方自治体と大学の良好な連携関係

➤ 一方、県を超えた連携、大学を超えた連携は少なく、また、産学官金が一堂に会する連携関係も少ない

オール北陸の多様なプレイヤーが一堂に会し、新産業創出や人材育成に取り組む、産学官金プラットフォームを構築し、日本の未来社会に向けた地方創生モデルを示す！

北陸未来共創フォーラムの発足

観点「外部資金獲得体制の整備」

DIVERSITY×INNOVATION

北陸未来共創フォーラム



未来ビジョンI	経済・産業活性化	北陸地域において強みを持つ産業 今後飛躍的な成長が見込める産業	マテリアル分科会 先端エレクトロニクス分科会 ヘルスケア分科会 次世代農林水産分科会
	未来ビジョンII	人材育成・地域定着	地元人材育成分科会 人材流入・地域定着分科会

北陸3県に跨り、国公立大学、関連企業、団体自治体、公設試験研究機関等が一堂に参画する広域の産学官金プラットフォームが誕生！

観点「組織改革によるインパクト」

※ 経済界から国内で稀にみる取組と高い期待

KPI達成状況

KPI	R3 構想	実績	達成
KPI 1 フォーラム参加企業等数	500社	114社	達成
KPI 2 北陸企業との共同研究等	3億円	3.98億円	達成
KPI 3 実施する共創事業件数	5件	8件	達成
KPI 4 共創教育事業参加企業数	1,000社	1,370社	達成
KPI 5 共創教育事業実施件数	30件	41件	達成

個別の産学官連携ではなく、複数大学・企業・業界が一堂に会するプラットフォームの設置により

大学の教育・研究シーズや個別企業のニーズを基とした共同研究や人材育成事業から

観点「リソースの戦略的配分」

北陸地域の産業課題・社会課題からのバックキャスト型共創事業への転換